2025 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【英語】

【1】 長文読解問題(ストーリー)

1つのことに集中すると、他のことが疎かになってしまう傾向がある少年と、我が子であるその少年の行動を常に温かく見守っている母親の触れ合いについて書かれた物語です。ある日、母親から頼まれた買い物の途中で、通りすがりの老人と少女に示した少年の親切な行動と、結果として、言いつけ通りに買い物ができなかった少年に対する母親の接し方が読解上のポイントになります。設問は、例えば、問3や問5の意味選択は英文の表面的な意味だけでなく、本文全体の意味合いを踏まえた上で、正解を選ぶ問題です。そのような問題に対処するには、まずは文を直訳して英文の意味を正確に把握してから、この文脈において「言いたいこと」は何かを考えます。その際には本文の中で示されている各登場人物の特徴や考えを踏まえて、正解を選ぶようにしましょう。問9の内容真偽においては、選択肢の文に該当する箇所を探すために、何度も本文を読み返してしまうのは時間のロスになります。本文を読む際に、この形式の問題で問われそうな箇所を意識して、線を引くなどしておくとよいでしょう。

【2】 長文読解問題(説明文)

クジラがプラスティックゴミをエサと間違って食べてしまう原因を調査した説明文です。クジラは自らが出すエコーによって周囲の状況を把握しますが、エサとなるイカとプラスティックに反射した反響音が似ていることから、クジラが間違ってプラスティックを食べてしまい、死に至ることがあります。最終段落ではこの問題の解決策として、プラスティックゴミを減らす方法について言及しています。本問のような文は論理的に書かれてますので、読んでいる箇所が主張なのか、理由なのか、具体例なのかを意識して読むようにしましょう。そのようにすれば、未知の単語が出てきても、前後の関係から意味を推測することができます。本間では、記述形式の内容説明問題が多く出題されています。「説明」という言葉に苦手意識を感じる受験生も多いかもしれませんが、たいていの場合、下線部の直前や直後に該当箇所があります。その該当箇所を具体的な日本語に直すことで、概ね解答は完成します。この解き方は今後の記述形式の試験対策として有効だと思われます。

【3】 会話文読解問題

「生成 AI」の学習における使用に関するクラス討論の様子を記述した会話文を基にした問題です。このテーマは、昨今話題になることが多いのでよく知っている人も多いと思いますが、このような最近のトピックについては、日頃から関心を持って、新聞やテレビのニュースなどに触れるようにしましょう。討論形式の会話文においては、各人物の主張(賛成か反対か、その根拠は何かなど)について簡単なメモを書いておくか、カギとなる箇所に線を引くなどしておくと、後で読み返したときに分かりやすくなります。

【4】 適語(句)選択問題

文法および, 意味の上で, 適切な語(句)を選択肢の中から選ぶ問題です。各設問にはそれぞれ, 出題意図があります。それを意識すると, 誤りの選択肢にも気づきます。いずれの問題も文法, 語法の重要テーマから出題されています。復習の際には, 誤りの選択肢が間違っている理由を理解できると, 今後, 同じ傾向の問題を解く時に役立つと思います。

【5】 連立完成問題

上下の2つの英文の意味が同じ内容になるように、空所に適切な語(句)を答える問題です。英語を学習する際には、本間で問われているような典型的な書き換え表現も併せて覚えるようにしましょう。単純な語(句)の書き換えだけでなく、構造が異なる文の書き換えにも注意しましょう。よくテストで出題されるような同意表現は、まとめて覚えておくとよいでしょう。

【6】 語句整序問題

対話文中の英文の語句整序問題です。下線部(1)は間接疑問の形で、疑問詞の直後に do you think が入ることがポイントです。下線部(2)は助動詞 could を用いた依頼表現で、似たような表現がいくつかあるので、英作文問題として出題された場合でも、確実に書けるようにしておきましょう。

2025 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【数学】

基本的な問題から応用的な問題まで幅広く出題し、さまざまな考え方や解き方が「応用がきく」形で身についているかを問いました。特に図形問題において、条件を図にかきこんだり、求めたいものをいかにして求めるかを考えたりといった、試行錯誤が欠かせない問題を出題しています。さらに、計算量もやや多めの問題としています。試行錯誤をして得られた方針を、確実な計算力のもとで完遂する力を養ってほしいです。ただの典型問題の羅列ではない問題構成にしてあるため、解き方を覚えてあてはめるだけではない、「数学的応用力」が身についているかを確認するには適した構成になるように工夫しました。

【1】 計算問題(平方根,2次方程式,因数分解)

式の構造を見抜いて計算の工夫を考えることで、解答を求めやすくなるような計算問題を多く出題しました。闇雲に手を動かすのではなく、式の特徴をつかんで臨機応変に計算を実行できるようにしてほしいです。たとえば、(1)は1つめの()の中から2をくくり出せたか、(3)では展開をせず共通因数でくくれたか、確認してください。また、(4)のように、具体的な数の計算も文字を置いて一般化することで、様子をつかみやすくなることもあります。覚えておくとよいでしょう。

【2】 小問集合(平方根,平面図形の相似,空間図形の相似)

さまざまな分野から標準的・典型的な考え方で解ける問題を出題しました。特に, (2)・(4)の図形問題は、相似を利用することで長さや面積を計算する問題です。直接計算しづらい長さや面積を、比の利用によって求めるのは定石です。

【3】 確率(複数のカードを取り出す確率)

起こりうるカードの取り方を漏れなく重複なく列挙し、そのうち条件を満たす取り方が何通りあるかを数える、王道的な確率の問題です。積により場合の数を求められるところもありますが、基本は列挙と数え上げです。

【4】 関数と図形(関数 $y=ax^2$,等積変形)

関数 $y = ax^2$ のグラフに関する問題です。(1)は放物線と直線の交点を求める基本問題。(2)・(3)は,三角形の面積が等しくなるような点の取り方を考える設問にしました。等積変形の考え方に基づき,平行な直線を適切に利用することが肝要です。

【5】 平面図形(円の接線,三平方の定理,相似)

2つの円と共通の接線を題材として、相似と三平方の定理を利用することで長さを計算する問題です。 与えられた条件をもとに図を描き、条件からわかることを描きこみ、図中で新たに得られる性質がないか と考える――そういった、最も基本的な取り組みが威力を発揮します。計算はやや煩雑ですが、早めに因 数をくくり出したり、相似な図形を考えたり、工夫によって楽にすることは可能です。

【6】 空間図形(三平方の定理,空間内の2点間の距離)

直方体の3方向に四角錐をつなげたとき、それらの側面は内側にへこんでいるのか、外側に飛び出ているのかを考察する問題になっています。(3)までたどりつかなかった人や、たどりついても一方の場合しか考えなかった人は、結局何を調べているのかを念頭において解説を理解してほしいです。立体的なイメージを直接考えるのは少々難しいため、適宜平面図形を切り抜き、そのうえで考えることが重要な問題です。また、特に(3)は計算量も多いです。打ち立てた方針を、確実な計算力のもとで完遂する力が必要な1間にしました。

2025 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい 【国語】

入試を視野に、読解・記述に加え、漢字の読み書き、語彙、文学史の知識を文章内に組み込んで問う形式で出題しています。これまでの学習成果を総合的に判定し、必要な学習課題を明確化できるようにすることが目的です。

【一】 論説文の読解……… 外山滋比古『知的生活習慣』

丁寧に読み進めることで、正確に文脈を捉えることのできる素材文を採択しました。読解の基礎がきちんと習得できているかどうかを、各自しっかりとチェックしてほしいです。間二の脱落文補充と間三の文脈理解、そして間九のまとめの設問の三題の正否には、特に注意を払いましょう。その際、各設問が単に合っていた間違っていたというレベルでの意識の払い方ではなく、なぜ答えを間違えてしまったのか、その原因となる読解の筋道上での誤りやずれがどこにあったのかを必ず確認することが大切です。今後同じ文章からの出題に出くわすことはないかもしれません。しかしこのようにして復習した文章の読み方・問題の解き方についての記憶は、他の文章にあたるときにも必ず応用できる力となって残るでしょう。解説をフル活用した復習を重視してほしいです。また今回の出題にあたっては、文学史知識や語句知識の確認問題も多少設問中に混ぜました。どれも基本的レベルの問いばかりなので、一つでも正解できない問いがあった人は、知識問題の早急な総合的復習が必要です。

【二】 小説文の読解……… 遠藤周作『深い河』

小説文というこのジャンルからの出題で一般的に問われる中心となるのは、場面展開の把握力とその流れの中での人物心理の理解力という二つのポイントです。今回は、それらに対応する力が現時点でどの程度身についているかを測れる素材文と設問を提示しました。比喩やたとえ、また間接描写や慣用句などを巧みに交えた描写を通して、登場人物同士の人間関係や心理の移り変わりをどのくらい深く読み取れたか、各設問での正否をふまえて、各自の読解力を客観的に分析する材料にしてください。なお本問での記述説明問題については、読み取った内容をどの程度簡潔にまとめることができるかを確認できるよう、指定字数を敢えて短く設定して出題しました。受験生の中には、長い記述説明問題の出題を嫌う傾向がしばしば見られるが、要点をうまく押さえながら簡潔に短く答えをまとめる作業の方が、実は意外に難しいのです。

書いては推敲しまた書いては推敲するという作業を繰り返す練習を重ねることで、どのような長さや条件付きの記述説明問題にも対応できる確実な表現力を、是非磨いていってほしいと思います。

【三】 古文の読解……… 『宇治拾遺物語』巻十ノ三「堀河院、明暹に笛吹かさせ給ふこと」

出典は入試では頻出の鎌倉時代の説話集である『宇治拾遺物語』。文脈を丁寧にたどり、動作の主体や人物関係、内容を的確に把握する力を身につけましょう。また、この機会に、古文単語の意味、基礎的な文法事項、文学史などをいま一度確認することも必要です。記述問題については、現代文の読解にも通じる、動作の理由を問う問題を出題しました。〔注〕や他の設問を参考にしながら、求められている内容を適切にまとめるよう注意しましょう。その際には、「誰が」どうしたのか、主語を明確にして解答することを心がけましょう。

2025 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【理科】

物理・化学・生物・地学からそれぞれ、中3で学習する内容も含めて出題しました。どの大問でも、応用力や思考力、適応力などの、知識以外の力も問われています。単なる知識の再現ではなく、初めて見るようなものに対して、これまでに学んだことを活用して考えられるかを試しています。ただし、これらの力は、十分な知識があってこそ発揮されるものでもあります。学習内容を単に暗記するのではなく、自分の言葉で理解し、整理しておくことが鍵となります。

【1】 生命のつながり①(細胞分裂)

体細胞分裂についての問題です。タマネギの根を題材としており、図には植物細胞が示されています。 設問の内容自体は基本的なものが多いですが、教科書ではあまり触れられない「細胞周期」・「間期」・ 「分裂期」などの用語を使って出題しています。これらの用語の意味は問題文内に書いてあるため、瞬時 に理解し、適応する力が問われる構成となっています。

【**2**】 化学変化とイオン①(水溶液とイオン)

塩化銅水溶液の電気分解に関する問題です。塩化銅水溶液を電気分解すると、陽極には銅イオンが、陰極には塩素イオンがそれぞれ集まっていきますが、この問題では、イオン交換膜があることに注意が必要です。各イオン交換膜が通すイオンや、イオンの移動によって各室内の水溶液が電気的に中性を保たれていることを読み取り、銅イオンや塩素イオンのふるまいを正確にとらえられるかを問いました。

【3】 運動とエネルギー(物体の運動,エネルギー)

小球の自由落下運動についての問題です。<実験1>では、自由落下運動をさせた小球について問うており、<実験2>では、台から飛び出した小球についてと、力学的エネルギーについて問いました。<実験2>では、小球の運動を水平方向と鉛直方向に分けて考える必要があります。また、表から、水平方向には等速直線運動をすることや、落下時間が常に一定であることから、鉛直方向には自由落下運動をすることに気付けるかがポイントです。教科書内容から発展させたものを出題することで、力と運動の理解を深めるとともに、推察力や思考力の向上を目指しました。また、グラフに慣れてほしいという意図で、グラフをかく問題や、グラフの概形を選ぶ問題も出題しています。

【4】 生命のつながり②(遺伝の規則性)

遺伝についての出題です。顕性などの基本的な用語の理解が不十分だと、問題文の正しい理解が困難となってしまいます。本問題では、2つの形質について問われるため、一見複雑に感じるかもしれませんが、基本的な知識があれば解くことができます。応用的な思考力や情報を整理する力を問う一方で、基礎知識の重要性を再確認してもらうことをねらいとして出題しました。

【5】 地球と宇宙① (惑星, 天体の動き)

火星を題材とした問題です。地球との比較や、火星の衛星、地球からの見え方などについて出題しました。問題文にもあるように、火星には、地球と共通する点もあれば、異なる点もあります。(1)や(2)のように、それらの原因や理由を考えることが、惑星への解像度を高めることにつながります。惑星の性質や動きへの理解を深めるとともに、天体への興味の足掛かりになればと思います。

【6】 自然界のつながり(物質の循環)

自然界の物質の循環について出題しました。空欄や矢印がそれぞれ何を示すかを正確にあてはめる必要があります。また、炭素は二酸化炭素や有機物として移動していることに注意が必要です。本問題を通して、自然界の物質の循環の全体像を把握し、知識を体系的に活用する力を養ってほしいです。

【7】 化学変化とイオン②(中和)

中和に関する実験についての問題です。<実験1>では、うすい硫酸と水酸化ナトリウム水溶液の反応、<実験2>では、うすい硫酸とアンモニアの反応、<実験3>では、うすい硫酸と水酸化ナトリウム水溶液の反応をそれぞれおこなっています。この分野の計算問題では、酸とアルカリが過不足なく反応するときの質量比や体積比を利用することが非常に重要です。(7)までの問題を解くことで、<実験2>で反応したうすい硫酸の量を求める手順がわかるようになっています。その手順を、(8)のアンモニアの質量を求める問題に応用する力も試しました。

【8】 地球と宇宙②(太陽,太陽放射)

放射をテーマとした問題です。太陽から受け取るエネルギーや、エネルギー収支のつり合いなどについて、出題しました。教科書で学習する内容を超えるものもありますが、問題文をしっかりと理解できれば解ける構成となっているため、読解力や対応力が問われます。本問題は、地球温暖化にも関連した内容となっています。これらの問題を通して、地球温暖化をはじめとする、人間を取り巻く自然環境について、理解を深めるとともに、興味も広げてほしいです。

2025 第4回駿台高校受験公開テスト 出題のねらい【社会】

地理分野は、これまでは入試での出題頻度が高くなかったがここ数年の情勢により注目されていて、今後多く出題が予想されるロシアとその周辺の国々について、基本的な事項を中心に出題しました。また、出題頻度の高い日本の工業については、難関校向けの詳細な事項を多く出題しました。

歴史分野は、現在の日本の状況にも直接つながる第二次世界大戦までの動向、および戦後の 昭和時代以降の政治・経済・文化の重要事項を中心に出題しました

公民分野は、経済に関しての頻出の事項を中心に、語句の名だけでなく内容まできちんと理解できているかを意識して出題しました。

【1】 歴史総合(昭和時代以降中心) I

(1)に関しては各選択肢の内容とともに、それぞれの選択肢の出来事が起こった時期にも注意するようにしましょう。(2)の年表問題については、日本の動向とヨーロッパでの動きを連動させることで、同時期の横の関係を意識することが大切です。(7)の説明問題は解答のための知識は基本的なものですが、その知識を提示された条件に沿って解答を作成するためには、国家総動員法のより深い理解が必要とされます。(10)の1の太平洋戦争中の主要な戦いについては、多少細かい点も問われるので、それぞれの戦いの原因・経過・結果をきちんと把握するようにしましょう。

【2】 歴史総合(昭和時代以降中心)Ⅱ

(1)の日本が第二次世界大戦前に獲得した領域については、名称・位置・獲得した条約をセットで押さえるようにしましょう。(2)の戦後の日本の首相については、少なくとも選択肢に提示されている首相に関しては在任した時期とその主要な業績を正確に把握しておくことが必要です。(5)の高度経済成長期に関する設問では、「三種の神器」と「新三種の神器(3C)」のそれぞれの製品名と普及した時期をきちんと区別できるようにしておくとよいでしょう。

【3】 経済

 $(1) \cdot (2) \cdot (3)2 \cdot (4)2 \cdot (5) \cdot (6) \cdot (8)1 \cdot (8)2 \cdot (9) \cdot (11)1$ は基本レベル,他は標準レベルです。(3)1 は語句の名の暗記のみだと正解できない可能性が高いです。(4)1 は購入量なのでアかイには絞れると思います。(7)は円高・円安の正確な理解が問われています。(10)は日本が「中福祉・中負担」であるのを知っているかがカギです。(11)2 はウを知らなくても消去法で正解したいところです。例年は経済の単元を苦手にしている人が多いので,基本レベルで失点した人も多いかもしれません。しっかり復習しておきましょう。

【4】 ロシアとその周辺の国々

アゼルバイジャンなど中学生には馴染みがなさそうな国も登場していますが、こうした国についてよく知らなかったとしても、高得点が取れるように問題が作られています。持っている知識を最大限駆使して取り組みましょう。(4)の天然ガスや(7)の小麦のような最重要物資については、統計を覚えておくことも大切でしょう。(5)は、イランがペルシャ語の国で、イスラム教の少数派であるシーア派の国であることを知っていると楽でした。難関校では使える知識です。

【5】 日本の工業/資源・エネルギー

難関校では、中学範囲の用語は何でも書かされます。(5)の「工業団地」といった普通名詞のような用語は盲点になることが多いので要注意でしょう。(6)のような県ごとの工業の特徴についての理解を試す統計問題は難関校では頻出です。また、(2)で試されているように、難関校では工業都市についての出題も多いので、備えておく必要があります。